

科目名	教養演習 H		科目ナンバリング	L-GELS9-07. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	G50033		30時間				
区分	一般教育科目	選択必修	担当者名	神戸 直樹			授業 形態	演習	単独	
授業の 概要等	<p>〔授業の主旨〕 非言語コミュニケーション論：対人コミュニケーションにおいて、身振り、手振り、顔の表情、視線、周辺言語、身体接触、対人距離など、ことば以外の手段によって伝えられる非言語（ノンバーバル）メッセージが果たす役割は質、量ともに非常に大きい。本科目は、さまざまな非言語的伝達手段とコミュニケーションに関する理論・概念を考察し、それらを用い実際のコミュニケーションを観察、分析することで、辞書には載っていない非言語メッセージの意味を探っていく。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの7に関連し、カリキュラムポリシーの7に関連している。</p>									
到達 目標	<p>1) 非言語コミュニケーションに関する基本的な理論や概念を用いて、実際のコミュニケーションにおける非言語メッセージの特性・機能・意味を説明できるようになる。 2) 実際のコミュニケーション状況において、非言語コミュニケーションをより多角的に観察したり、自覚的に実践したりできるようになる。</p>									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考	
第1回	オリエンテーション			コミュニケーションの定義とモデル						
第2回	非言語コミュニケーションの機能と特徴			教科書1章、リーディング・レスポンス1提出						
第3回	外見と魅力			教科書2章						
第4回	ジェスチャーと動作			教科書3章、リーディング・レスポンス2提出						
第5回	顔の表情			教科書4章、観察メモ1提出						
第6回	視線行動			教科書5章、リーディング・レスポンス3提出						
第7回	音声行動・周辺言語			教科書6章、観察メモ2提出						
第8回	空間・対人距離			教科書7章、リーディング・レスポンス4提出						
第9回	身体接触			教科書8章						
第10回	異文化コミュニケーションと非言語メッセージ			教科書13章、リーディング・レスポンス5提出						
第11回	ジェンダーと非言語コミュニケーション			教科書11章、観察メモ3提出						
第12回	人間関係における非言語コミュニケーション			ハンドアウト、リーディング・レスポンス6提出						
第13回	説得と非言語コミュニケーション			ハンドアウト、分析レポート提出						
第14回	オンラインの非言語コミュニケーション			ハンドアウト、リーディング・レスポンス7提出						
第15回	期末試験、まとめ			試験準備、授業の振り返り						
評価 方法 及び 評価 基準	授業参加度(ワークシート含)(20%) リーディング・レスポンス(15%) 観察メモ(15%) 期末試験(25%) 分析レポート(25%)									
課題等	上記参照									
事前事後 学修	180分/週									
教材 教科書 参考書	教科書：V.P. リッチモンド、J.C. マクロスキー、2006、『非言語行動の心理学：対人関係とコミュニケーション理解のために』、北大路書房。(978-4762824906)									
留意点	授業準備に時間をかけ、その準備をもとに積極的に授業参加することが求められる。									